

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和5年6月1日から 令和6年1月31日 *契約日から評価結果の確定日 (通常、評価結果報告会日) まで	
評価調査者 (評価調査者養成研修修了者番号を記載) 050431 050011	

2 福祉サービス事業者情報 (令和5年10月末現在)

事業所名：特別養護老人ホーム ローマンうえだ (施設名)	種別：介護老人福祉施設 併設 短期入所生活介護
代表者氏名：理事長 上原 孝義 (管理者氏名) 施設長 六川 真理子	定員 (利用人数)： 93 名 短期入所生活介護 10 名
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設 (指定) 年月日： 平成14年 9月 1日
所在地：〒386-0004 長野県上田市殿城 250 番地 1	
電話番号：0268-26-8871	FAX 番号：0268-26-0875
電子メールアドレス：rooman-u@ued.janis.or.jp	
ホームページアドレス：http://www.ja-naganokai.or.jp/	
職員数	常勤職員： 43 名 非常勤職員 21 名
専門職員	(専門職の名称) 生活相談員 2名 管理栄養士 1名
	介護福祉士 45名 歯科衛生士 1名 看護師 6名
	介護支援専門員 2名 機能訓練指導員 2名
施設・設備 の概要	(居室数) 49 (設備等) 浴室 トイレ 医務室 静養室
	個室 27 2人部屋 6 4人部屋 16 地域交流スペース 機能訓練室 食堂 喫茶スペース 理髪室 家族宿泊室 洗濯 室

3 理念・基本方針

社会福祉法人ジェイエー長野会 理念 わたしたちは「協同のこころ」をもって、“あなた “とともに、“地域 “とともに一人 ひとりの幸せ・笑顔を創ります
行動目標 私たちは、一人ひとりの尊厳を守り、“いのち”の大切さに向き合いながら寄り添い、 係わる全ての人々が、身体的・精神的・社会的に良好な状態でその人らしい日常生活 が送れるよう、努めます。そして、地域とのつながりを広げ、地域共生社会の実現を 目指します。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

1. 本人の思いを尊重した支援

利用者本人を中心に、センター方式アセスメントシートを活用しながら、家族、多職種、地域の人々が連携し、安心した日々が送れるよう実践に取り組んでいます。入所後は自宅への帰省や、外出、家族・地域との繋がりを大切に支援を行っています。又、地域のボランティアの方と利用者様との交流もコロナ禍を経て再開しています。

2. 社会の変化に対応できる人材育成

高い倫理観と、専門職としての知識を持ち、地域共生社会の実現を目指す人材の育成とキャリアパスに応じた研修を実施し、職員の資質向上のための研修を行っております。

3. 労働環境改善の取り組み

利用者様を抱え上げずご本人の協力を得ながらリフトやスライディングシートを用いた移動・移乗など、介助する側・される側のどちらにもやさしい北欧式トランスファーに取り組んでいます。昨年度より、業務改善の一環として、ICTの導入を行い、職員の精神的、肉体的負担の軽減にも努めています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	4 回（平成 29 年度）
---------------	---------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○利用者一人ひとりの思い（希望や要望）を日常生活の中で大切にし、利用者主体となる取り組みが行われていました。

- ・ローマンうえだ基本方針において、利用者の思いを日々の生活の中で大切にし、プライバシー保護と人権の尊重へ取り組むことが明示されていました。
- ・サービス向上委員会では、利用者からのアンケートを行い、個別ニーズを把握して生活の質向上に努めていました。また、日常生活の中でも利用者・家族からの要望・意見を聴取し、その内容を反映させていました。
- ・栄養委員会では、利用者の食事についての話し合いや聞き取り調査、検食結果等から、利用者の意向を踏まえたメニューの見直しを行い、希望に沿える献立設定に努めていました。
- ・利用者のよりよい生活への取り組みとして、「いいひととき・いい一日・より良い暮らし」を提供するために、本人の大切な思い出・大切な人・場所・行きたいところ・馴染みのところ・こだわり等に配慮した関わりや、心地よさが感じられる具体的な支援を、職員のチーム連携で行っていく体制ができていました。

○利用者の虐待防止・事故防止と発生した場合の適切な対応が行われていました。また、虐待や事故報告が事業報告書に明示・公表され、透明性が感じられる対応がとられていました。

- ・事故防止対策委員会、身体拘束廃止委員会が設置されていて、ケアに苦慮するヒヤリハットケースを持ち寄り委員会で検討し、その結果を部署にフィードバックし、

事故の再発を防ぐ対応が行われていました。

- ・定期的なリスク部会の開催に併せて、3カ月に1回の身体拘束廃止委員会が開かれ、各部署での身体拘束が行われていないか確認していました。
- ・令和4年度事業報告書に、年間のヒヤリハット報告書集計が掲示されていました。ヒヤリハットの内容、介護事故や交通事故の発生場所・内容件数が詳細に開示されていました。また、苦情・要望についても記載されていて、対外的には公表しにくい部分ですが、透明性があり、法人のあるべき姿勢が示されていて、評価できます。

○職員研修会や勉強会が体系的計画されていて、職員の皆さんも積極的に参加し、資質向上に向けた取り組みが行われていました。

- ・研修体系は、法人全体研修、上田地域事業本部研修、外部研修に分類されていて、年間研修スケジュールにより実施されていました。研修内容としては、事業所別、サービス別職種別、認知症ケア、北欧式トランスファー等各種研修会が行われ、積極的に参加していました。
- ・グループ研究会や事例検討会が定期的に行われていました。一つの事業所を越えて、多種職及び各上田地域事業所職員が参加して行われ、多角的な視点からの研修会となり、研修成果も大きいという事でした。
- ・研修実施に当たっては、年度初めに「職場研修計画・評価シート」により、研修理念・方針、研修課題・ニーズ、研修テーマ、具体的研修計画の作成を職員個々が行い、年度末に研修テーマ、具体的研修計画の評価を行い、研修内容の進捗状況を確認できる仕組みができていました。
- ・2040年地域共生型社会をイメージし、これからの地域包括ケアを担う人材育成、リーダー職員養成研修にも力を入れていました。

○地域に開かれ地域と共に歩み、地域の福祉拠点となる取り組みが実践されていました。

- ・上田地域事業本部事業としては、特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・ヘルパーステーション、小規模多機能型居宅介護、地域密着型サテライト特養等が地域の中に整備されていて、地域の高齢者福祉の拠点として機能していました。
- ・ローマンうえだは開設以来、「安心の地域づくり」を進める住民の皆さん、行政、関係機関との連携により、地域で安心して住み続けられる、福祉の総合拠点としての活動が行われてきました。
- ・地域づくり推進にむけ「安心の地域づくりセミナー」を住民組織、行政、鹿教湯病院とともに毎年定期的に行われ、医療や福祉、介護制度などについて学んでいました。令和5年度セミナープログラムは、メインテーマとして「安心の地域づくり活動の実践から学び、これからの住みやすい地域づくりを共に創っていきましょう」であり、令和6年1月からの講義内容が示されていました。

○「介護する人、される人」それぞれに優しい介護方法の普及と介護環境の向上に取り組んでいました。

- ・リフト、スライディングシート等福祉用具の活用、利用者の残存機能の活用による負担の少ない介護方法を取り入れ、全職員が安全・安楽なケアが実施できるよう研修の実施と技術習得が行われていました。
- ・北欧式トランスファーの実践を継続的に行い、質の高い介護の提供が行われていました。また、福祉器具・用具の点検・整備・マニュアルの見直しや腰痛予防対

策の実施がされ、介護環境の改善・向上に取り組んでいました。

◇特に改善する必要があると思う点

○今後のローマンうえだにおける、中・長期計画のより具体的な設定と取り組みについて期待いたします。

・ローマンうえだでは、2040年問題や地域共生型社会実現に向けた考え方について示されていましたが、中・長期計画の策定については、計画期間が3～5の中で実現できるものとされており、かつ財源面での裏付け(中・長期計画収支予算書)を含めた計画の策定が必要となっています。また、中・長期計画の中で、実行・評価・見直しを行う事が求められています。

以上の点を含めた、より具体的な計画の策定について期待いたします。

○単年度事業計画・事業報告の主たる内容について、利用者及び家族に対してより分かりやすく説明し、理解を深める取り組みを期待いたします。

・事業計画は、利用者への福祉サービス提供に関わる最も重要事項となります。事業計画の主な内容については、利用者や家族に対して分かりやすく説明し、周知・理解を促すことが必要です。印刷物等でより分かりやすい説明と周知の取り組みを期待いたします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目(別添1)
- ・ 内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合（別添3－2）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

おこなって